

htc®

 **VIVE** ENTERPRISE™

ヘッドセットのバッチ構成

コンテンツ

設定

設定ファイルをダウンロードする	4
バッチ構成テンプレートパッケージをダウンロードする	4

バッチ構成

キオスクモードとは何ですか？	5
キオスクモードをアクティベートする	5
機能を有効および無効にする	6
ヘッドセットに表示するアプリを選択する	11
インストール用にファイルをパッケージに含める	11
ヘッドセットにバッチ構成ファイルをインストールする	12

付録

国識別コード	15
機能バージョンの要件	16

商標と著作権

本ガイドについて

発行日：10.27.2020

役に立つ情報や重要な情報を示すために、以下のシンボルを使用しています：



注釈です。設定や一般的な質問、特定の状況でやるべき事項について詳しく説明しています。



ヒントです。特定の手順を行う別の方法や、役に立つ可能性のある別の手順について説明します。



特定のタスクを達成したり、機能を正常に機能させるために必要となる重要な情報を示します。



これは警告です。問題の発生やハードウェアへの損害を避けるために留意してください。

本ガイドに含まれている情報は、変更されている可能性があります。本ガイドの最新版を含めた最新の情報については、HTCにお問い合わせください。

設定

設定ファイルをダウンロードする

ヘッドセットでバッチ構成を実行するには構成ファイルが必要です。



設定ファイルには登録されているすべての VIVE™ Focus ヘッドセットが含まれています。登録されているヘッドセットの1つ1つに対して、個別の設定ファイルは必要ありません。

1. コンピュータ上のウェブブラウザから、<https://enterprise.vive.com/portal/advantage/focus/kioskmode> にアクセスします。
2. 設定ファイルのダウンロードをクリックし、コンピュータに設定ファイルを保存します。
3. `cota_config.xml` をバッチ構成テンプレートパッケージの `xml` フォルダにコピーします。テンプレートパッケージをダウンロードできる場所については、[バッチ構成テンプレートパッケージをダウンロードする \(P.4\)](#) を参照してください。

バッチ構成テンプレートパッケージをダウンロードする

バッチ構成テンプレートパッケージには、ヘッドセットのカスタム機能に必要なファイル構造とファイルが含まれています。

1. コンピュータ上のウェブブラウザから、<https://enterprise.vive.com/portal/advantage/focus/kioskmode> にアクセスします。
2. テンプレートパッケージのダウンロードをクリックし、コンピュータにテンプレートファイルを保存します。
3. ZIP ファイルの内容をコンピュータ上のフォルダーに解凍します。apk、xml、および files の3つのファイルが表示されます。



apk フォルダ内にある `Kiosk_Enabler.apk` は削除しないでください。

バッチ構成

キオスクモードとは何ですか？

キオスクモードを利用すると、業務上のニーズに合わせて VIVE Focus ヘッドセットを微調整することができます。キオスクモードでは、顧客がヘッドセットを使って体験できるアプリをロックできます。



- ヘッドセットが **2.08.623.1** またはそれ以前のシステムバージョン (VIVE Focus™) または **3.04.623.1** またはそれ以前のバージョン (VIVE Focus Plus) を使用している場合、キオスクモードを使用できるようにするには、最初にヘッドセットのシリアル番号を登録する必要があります。
- ヘッドセットが **3.13.623.1** 以降のシステムバージョン (VIVE Focus) または **4.14.623.1** 以降のシステムバージョン (VIVE Focus Plus) を使用している場合、キオスクモードはデフォルトで有効になっています。[機能バージョンの要件](#) (P.16) を参照してください。

キオスクモードをアクティベートする

ビジネスのニーズに合わせて、キオスクモードを有効にしてカスタマイズします。

1. バッチ構成テンプレートパッケージの内容を解凍したフォルダの中にある xml フォルダを開きます。[バッチ構成テンプレートパッケージをダウンロードする](#) (P.4) を参照してください。
2. テキスト編集アプリを使用して、フォルダ内にある mns.xml ファイルを開きます。
3. キオスクモードを有効にするか無効にするか選択します。

```
<item name="enabled" type="boolean">xxxx</item>
```

true と入力するとキオスクモードが有効になります。false と入力するとキオスクモードが無効になります。



- ヘッドセットが **3.13.623.1** 以降のシステムバージョン (VIVE Focus) または **4.14.623.1** 以降のシステムバージョン (VIVE Focus Plus) を使用している場合、キオスクモードはデフォルトで有効になっています。有効化する必要はありません。[機能バージョンの要件](#) (P.16) を参照してください。

4. 自動的にキオスクモードで起動するか、VIVE ホーム画面で起動するかを選択します。

```
<item name="enter" type="boolean">xxxx</item>
```

true と入力するとキオスクモードを使用します。false と入力すると VIVE ホームを使用します。

- キオスクモードを退出する時に入力しなければならないパスコードを設定します。これを設定することで、ユーザーが自分自身でキオスクモードから退出できないようになります。

```
<item name="passcode">xxxx</item>
```



パスコードは 4 桁の数字にする必要があります [0-9]。

- VIVE Focus を使用する国の国識別コードを入力します。国識別コードを入力することで、VIVE Focus が Wi-Fi® ネットワークに接続しやすくなります。国識別コードのリストについては、[国識別コード](#) (P.15) を参照してください。

```
<item name="code">xx</item>
```

- アプリとアプリパッケージの名前を入力します。

```
<set name="plenty">
```

```
<item name="app name">xxxx</item>
```

```
<item name="app_package_name1">xxxx</item>
```

```
</set>
```

```
<set name="plenty">
```

```
<item name="app name">xxxx</item>
```

```
<item name="app_package_name2">xxxx</item>
```

```
</set>
```



- パッケージ名を確認する場合は、`#adb dumpsys app | grep package` と入力してください。
- アプリの入力を追加する場合は、`<set/>` をコピーします。
- `<set name>` はすべてのアプリで `plenty` に設定する必要があります。アプリの名前に変更しないでください。
- アプリが 1 つしか含まれていない場合、キオスクモードが有効になっていると、デバイスは自動的にそのアプリで起動します。

- ファイルを保存します。

機能を有効および無効にする

バーチャルウォール、Wi-Fi 設定、カスタムブートアップアニメーション、自動システムアップデートなどの機能をオンまたはオフにします。

- バッチ構成テンプレートパッケージの内容を解凍したフォルダの中にある `xml` フォルダを開きます。[バッチ構成テンプレートパッケージをダウンロードする](#) (P.4) を参照してください。
- テキスト編集アプリを使用して、フォルダ内にある `cc_config.xml` ファイルを開きます。

3. 各機能に該当するテキストと値を入力して、機能を有効または無効にします。各設定の x 値を 1 (有効) または 0 (無効) に変更します。

例 : <enableUSBdebug>1</enableUSBdebug>。

ヘッドセット向けに設定できる機能の全リストについては、[利用できる機能 \(P.8\)](#) を参照してください。

4. ファイルを保存します。



- 各機能のシステムバージョン要件を確認する場合は、[機能バージョンの要件 \(P.16\)](#) を参照してください。
- VIVE Focus を特定の Wi-Fi ネットワークに接続するためには、<hasWIFISettings> の値を 1 に設定する必要があります。[Wi-Fi 設定ファイルを構成する \(P.9\)](#) を参照してください。
- <hasAnimationZip> の値が 1 に設定されている場合、パッケージング用にカスタムブートアップアニメーションを用意する必要があります。[カスタムブートアップアニメーションを用意する \(P.10\)](#) を参照してください。
- ヘッドセットで現在使用されているものに加えて、別のヘッドセット追跡ソリューションもある場合は、<DisableLostTracking> 値を 1 に設定します。
- <SetPlayareaSize>には、2x2、3x3、または 4x4 を入力できます。寸法はメートル単位です。

利用できる機能

ヘッドセット向けに設定できる機能を紹介します。

機能の名称	テキストの設定
USB デバッグ	ヘッドセットの USB デバッグを有効または無効にします。 <enableUSBdebug>x</enableUSBdebug>
バーチャルウォール	プレイエリアのバーチャルウォールを表示または非表示にします。 <enableVirtualWall>x</enableVirtualWall>
Wi-Fi 設置	Wi-Fi を設定して、ヘッドセットを特定の Wi-Fi ネットワークに接続します。 Wi-Fi 設定ファイルを構成する (P.9) を参照してください。 <hasWIFISettings>x</hasWIFISettings>
ユーザーインターフェースのペアリング	コントローラーの中央配置機能を有効または無効にします。 <disablePairingUI>x</disablePairingUI>
3 DoF コントローラーのアップデート	3DoF コントローラーの自動アップデートを有効または無効にします。 <ThreeDoFController_update_enabled>x</ThreeDoFController_update_enabled>
Chirp コントローラーのアップデート (6 DoF コントローラー用)	Chirp コントローラーの自動アップデートを有効または無効にします。 <ChirpController_update_enabled>x</ChirpController_update_enabled>
システム更新	ヘッドセットの自動システムアップデートを有効または無効にします。 <System_update_enabled>x</System_update_enabled>
VIVE ホーム (ランチャー) のアップデート	VIVE ホームと VIVEPORT™ のアップデートを有効または無効にします。 <Launcher_update_enabled>x</Launcher_update_enabled>
COTA 持続性	詳細は COTA 持続性設定を構成する (P.10) を参照してください。 <cotaPersistence>x</cotaPersistence>
ブートアップアニメーション	ヘッドセットにカスタムブートアップアニメーションを追加します。 カスタムブートアップアニメーションを用意する (P.10) を参照してください。 <hasAnimationZip>x</hasAnimationZip>
失われた追跡に関する警告を表示しない	失われた追跡に関する警告を表示または非表示にします。 <DisableLostTracking>x</DisableLostTracking>
電源メニューの Wi-Fi およびキャストオプション	電源メニューに Wi-Fi 設定とキャストオプションを表示します。 <ShowWIFICastOption>x</ShowWIFICastOption>

機能の名称	テキストの設定
開発者向けオプションを表示	開発者向けオプションを有効または無効にします。 <EnableDevelopOption>x</EnableDevelopOption>
プレイエリアサイズ	プレイエリアのサイズを設定します。 <SetPlayareaSize>2x2</SetPlayareaSize>



各機能のシステムバージョン要件を確認する場合は、[機能バージョンの要件](#) (P.16) を参照してください。

Wi-Fi 設定ファイルを構成する

Wi-Fi 設定ファイルを編集して、VIVE Focus が特定の Wi-Fi ネットワークに接続できるようにします。

1. バッチ構成テンプレートパッケージの内容を解凍したフォルダの中にある xml フォルダを開きます。[バッチ構成テンプレートパッケージをダウンロードする](#) (P.4) を参照してください。
2. テキスト編集アプリを使用して、フォルダ内にある wifi_config.xml ファイルを開きます。
3. お使いの Wi-Fi ネットワーク設定に従って、タグの値を編集します。



それぞれのタグに値を入力する必要があります。入力できる値については、各タグの備考を確認してください。



ドメインが不要な場合は、<domain> タグの削除が推奨されます。

4. ファイルを保存します。

COTA 持続性設定を構成する

COTA 持続性機能を使用して、ヘッドセットにバッチ構成パッケージを保存するパーティションを作成します。この機能を有効にすると、ストレージカードを使用してバッチ構成パッケージをインストールした後、バッチ構成パッケージがヘッドセットの /cota パーティションにコピーされます。工場出荷時の設定にリセットしており、ストレージカードにバッチ構成パッケージがない場合、ヘッドセットは /cota パーティションにあるバッチ構成パッケージを自動的に実行します。

カスタムブートアップアニメーションを用意する

会社専用の起動アニメーションを追加することができます。

1. バッチ構成テンプレートパッケージの内容を解凍したフォルダの中にある files フォルダを開きます。バッチ構成テンプレートパッケージをダウンロードする (P.4) を参照してください。
2. フォルダ内で、bootanimation.zip ファイルの内容をコンピュータに解凍します。part0 フォルダと desc.txt ファイルが解凍されます。
3. アニメーションシーケンス画像を part0 フォルダにコピーします。



- PNG 形式の 3D プリディストーション画像を使用する必要があります。
- 推奨される画像のサイズは 2880x1600 ピクセルです。
- 画像には連続した名前を付けます。例：boot_0001.png、boot_0002.png など。
- アニメーションと併用するオーディオファイルを WAV 形式でこのフォルダに置くこともできます。

4. テキスト編集アプリを使用して、desc.txt ファイルを開きます。desc.txt は、part0 フォルダ内にある画像の表示方法を定義します。
5. 必要に応じてコードを変更します。

2880	1600	24	
p	1	0	part0

- 2880 アニメーションで使用する画像の幅 (ピクセル)。
- 1600 アニメーションで使用する画像の高さ (ピクセル)。
- 24 アニメーション再生時のフレームレート推奨するフレームレートは 24 です。
- p アニメーションの再生を停止または終了するコマンド。ヘッドセットが完全に起動した後、アニメーションの再生がすべて完了していない場合でもアニメーションを停止する場合は、p を入力します。ヘッドセットが完全に起動した後、少なくとも 1 回はアニメーションの再生を終了する場合は、c を入力します。
- 1 アニメーションがループする回数。アニメーションが繰り返される回数を入力します。ヘッドセットが完全に起動するまでアニメーションを繰り返し続ける場合は、0 を入力します。

- 0 再生前の待機時間。アニメーションがループに設定されている場合に、再生するまでの待機時間をフレーム数で入力します。
- part0 アニメーション用の画像が保存されているフォルダの名前。



ブートアップアニメーションが複数ある場合は、別の列を追加します。

2880	1600	24	
p	1	0	part0
c	0	0	part1

6. part0 フォルダと desc.txt を ZIP ファイルにパッケージし、名前を bootanimation.zip にします。
7. bootanimation.zip をバッチ構成テンプレートファイルの files フォルダ内に保存します。

ヘッドセットに表示するアプリを選択する

ユーザーがヘッドセットを使用する時に表示されるアプリを選択します。

アプリの APK をバッチ構成テンプレートパッケージの apk フォルダにコピーします。



- APK のファイル名には英数字のみを使用する必要があります。
- apk フォルダ内にある Kiosk_Enabler.apk は削除しないでください。

バッチ構成 ZIP ファイルを実行した後、ヘッドセットにアプリが自動的にインストールされます。ヘッドセットにバッチ構成ファイルをインストールする (P.12) を参照してください。

インストール用にファイルをパッケージに含める

バッチ構成テンプレートおよびその他のファイルの設定が完了したら、ヘッドセットでカスタムバッチ構成を実行するため、ファイルをパッケージに含めます。

1. Cota_config.xml、mns.xml、cc_config.xml、および wifi_config.xml、mns.xml、cc_config.xml、および wifi_config.xml ファイルが xml フォルダ内にあることを確認してください。
2. ヘッドセットに入れるアプリの APK ファイルが apk フォルダ内にあることを確認してください。
3. カスタムアニメーションファイルがある場合は、bootanimation.zip が files フォルダ内にあるか確認してください。カスタムブートアップアニメーションを用意する (P.10) を参照してください。

- apk、xml、および files フォルダを ZIP ファイルパッケージに含めます。



xml、apk、および files フォルダにはバッチ構成ファイルのみを含めるようにしてください。Mac ユーザーの場合は、_MACOSX フォルダなどの Mac リソースファイルを含めないように注意してください。ZIP ファイル内にバッチ構成ファイル以外のファイルが含まれていると、インストールで問題が生じる可能性があります。

- ZIP ファイルの名前は、FocusImage_[年][月][日].zip の形式にします。例：
FocusImage_20190519.zip。



パッケージされた ZIP ファイルの大きさが 500MB を超えることはできません。

ヘッドセットにバッチ構成ファイルをインストールする

カスタム設定を使用する場合は、ヘッドセットでバッチ構成 ZIP ファイルを実行します。

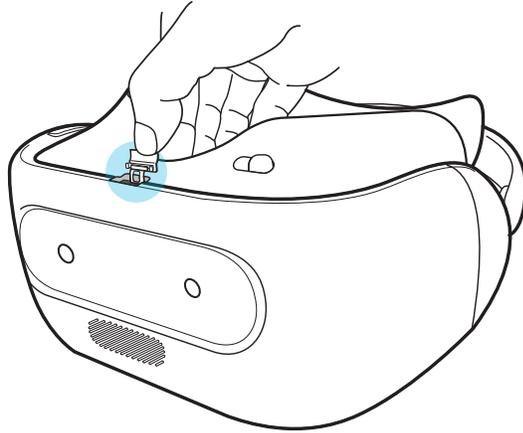


バッチ構成 ZIP ファイルを実行する前に：

- ヘッドセットのバッテリー残量が 35% 以上あることを確認してください。
- 以前にヘッドセットセットアップ手順を実行した事がある場合は、まず最初にハードリセットを実行してください。ヘッドセットをリセットする方法については、[ヘッドセットをリセットする（工場出荷時設定にリセット）](#)（P.13）を参照してください。
- 以前にヘッドセットにバッチ構成ファイルをインストールしたことがある場合は、まず最初にハードリセットを実行してください。ヘッドセットをリセットする方法については、[ヘッドセットをリセットする（工場出荷時設定にリセット）](#)（P.13）を参照してください。

- バッチ構成 ZIP ファイルを microSD™ カードにコピーします。ZIP ファイルのパッケージに含めるものについては、[インストール用にファイルをパッケージに含める](#)（P.11）を参照してください。
- ヘッドセットの電源はオフにしてください。

3. ヘッドセットのストレージカード用スロットドアを開きます。



4. microSD カードをスロットに挿入します。



5. ストレージカードのドアを閉めます。
6. ヘッドセットの電源をオンにします。
7. ヘッドセットに表示される指示に従い、バッチ構成ファイルをインストールしてください。インストールが完了するまで数分待ちます。

バッチ構成ファイルをヘッドセットにインストールする度に、必要に応じて参照できるように `cotalog.log` ファイルが作成されます。ログファイルはストレージカードのルートフォルダにあります。ヘッドセットにストレージカードが挿入されていない場合は、ログファイルは `/storage/emulated/0/` にあります。

ヘッドセットをリセットする（工場出荷時設定にリセット）

ヘッドセットで解決できない問題が継続して発生する場合は、工場出荷時の設定にリセットすることができます（ハードリセットまたはマスターリセットとも呼ばれます）。工場出荷時設定にリセットすると、ヘッドセットの設定が初期状態に戻されます。これは、一番最初にヘッドセットの電源を入れる前の状態です。



工場出荷時設定にリセットすると、ヘッドセット上の全てのデータが削除されます。これには、お客様がダウンロードしインストールしたアプリやお客様のアカウント、ファイル、システムおよびアプリデータや設定も含まれます。工場出荷時設定にリセットする前に、残しておきたいデータやファイルを必ずバックアップするようにしてください。

1. クイックメニューを開くには、VIVE ボタンを押します。
2. 設定 > 詳細設定を選択します。

3. 個人にあるリセットを選択します。
4. 工場出荷時の状態に戻す>ヘッドセットをリセット>すべてを消去を選択します。



工場出荷時設定にリセットすることで、個人情報を含めた全てのデータが永久削除される
とは限りません。

付録

国識別コード

以下は mns.xml ファイルの Wi-Fi 設定に使用する国と国識別コードのリストです。

地域	国	国識別コード
北米		
	カナダ	CA
	アメリカ	US
ヨーロッパ		
	オーストリア	AT
	ベルギー	BE
	チェコ共和国	CZ
	デンマーク	DK
	フィンランド	FI
	フランス	FR
	ドイツ	DE
	アイルランド	IE
	イタリア	IT
	オランダ	NL
	ノルウェー	NO
	ポーランド	PL
	ポルトガル	PT
	スロバキア	SK
	スペイン	ES
	スウェーデン	SE
	スイス	CH
	イギリス	GB
アジア太平洋		
	オーストラリア	AU
	日本	JP
	韓国	KO
	ロシア	RU

地域	国	国識別コード
	台湾	TW

機能バージョンの要件

ヘッドセットで、設定>詳細設定>デバイス情報>ビルド番号を選択してシステムバージョンを確認します。

機能の名称	VIVE Focus	VIVE Focus Plus
USB デバッグ	1.69.623.6 またはそれ以降	1.10.623.1 またはそれ以降
バーチャルウォール	1.69.623.6 またはそれ以降	1.10.623.1 またはそれ以降
Wi-Fi 設置	1.69.623.6 またはそれ以降	1.10.623.1 またはそれ以降
ユーザーインターフェースのペアリング	1.69.623.6 またはそれ以降	未対応
コントローラーのアップデート (3 DoF コントローラー用)	1.69.623.6 またはそれ以降	未対応
Chirp コントローラーのアップデート (6 DoF コントローラー用)	未対応	1.63.623.1 またはそれ以降
システム更新	1.69.623.6 またはそれ以降	1.63.623.1 またはそれ以降
VIVE ホーム (ランチャー) のアップデート	1.69.623.6 またはそれ以降	1.63.623.1 またはそれ以降
COTA 持続性	未対応	1.63.623.1 またはそれ以降
ブートアップアニメーション	未対応	1.63.623.1 またはそれ以降
失われた追跡に関する警告を表示しない	2.06.623.1 またはそれ以降	3.03.623.5 またはそれ以降
電源メニューの Wi-Fi およびキャストオプション	2.06.623.1 またはそれ以降	3.03.623.5 またはそれ以降
開発者向けオプションを表示	2.06.623.1 またはそれ以降	3.03.623.5 またはそれ以降
プレイエリアサイズ	2.08.623.1 またはそれ以降	3.04.623.1 またはそれ以降
キオスクモードがデフォルトで有効になっている場合	3.13.1405.1 またはそれ以降	4.14.623.1 またはそれ以降

商標と著作権

© 2020 HTC Corporation。無断転載を禁止します。

VIVE、VIVE ロゴ、VIVE Focus、VIVE Focus ロゴ、HTC ロゴ、VIVEPORT、およびその他の HTC 製品およびサービス名はすべて、米国およびその他の国における HTC Corporation とその子会社の商標および/または登録商標です。

その他の本書に記載されている商標およびサービスマークは、会社名、製品名、サービス名およびロゴを含めてそれぞれの所有者の財産であり、これらの本書内での使用は、HTC Corporation との提携や関連性、あるいは承認を示すものではありません。必ずしも、記載されているすべてのマークが本ユーザーガイドに掲載されるわけではありません。

本書に含まれる画面イメージはシミュレートしたものです。HTC は、本書中の技術的誤りや編集上の誤り、あるいは欠落、また、本資料の提供に起因する偶発的または必然的な損害に対して一切の責任を負いません。情報は、いかなる種類の保証なく「現状のまま」提供され、予告なく変更されることがあります。HTC はまた、事前の予告なく、いつでも本書の内容を訂正する権利を有します。

本書のいかなる部分も、いかなる形式または手段、あるいは電子的または機械的に関わらず、複製、情報検索システムへの記録や保管、あるいはいずれかの言語への翻訳を含め、いかなる形式であれ、HTC からの書面による事前の許可なしに複製または転送することを禁じます。